

# 高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

先週発行した風の中で、バスルートの件を間違えて書いてしまいました。朝3ルート、帰りは2ルートで検討しています。また、金曜が7時間と書いたのは、部活なども含めて7時間までの時間という意味でした。

今週も、春節前の挨拶に行ってきました。ということと、来年度の準備をしていたので、ほとんど子どもたちを見ていません。

## 1月20日(月)

○南和興産・・・いつものようにお礼をしてきました。今回は、4月からの契約についての話し合いをしてきました。引越は7月末から始めて8月の途中までかかります。ですので、現在の学校の契約を4月から8月というようお願いをしてきました。年間を12で割り、5ヶ月分をお支払いするというこうとで交渉成立です。(日本では、こんなことを書く必要ありませんが、皆様が支払ってくださっている授業料から払っているために書きました。日本国の補助もあります。)

○瑞祥高中・・・昨年烏山頭に高校生と行ったり、サッカーでのつながりがあったりということで行ってきました。ちょうど、終業式の日でした。校長先生と事務関係の方の食事会でした、50人以上もいました。

○中正国小・・・「愛河」に書いたように、正式契約の前の覚書調印をしてきました。

## 1月21日(火)

李登輝講演会・・・延期になった講演会が実現しました。私は、ロビーで李登輝様を迎える役でした。41階にあがり、すぐ私に声をかけてきました。「前の校長先生なんていったかな、彼の本は読んだよ。八田興一についてはその本で勉強したよ。」高口「それは、古川という先生で今は愛媛県に住んでいます。この藤原さんは、古川先生の教え子です。」などの会話をしました。そのあと、主催者側の一人として食事を一緒にしました。その間、李登輝様は、私達に講演と同じように、日本人は世界に認められているのだから堂々とやることをやってくれと、いろんな例を出してお話をしてくださいました。7時少し前になって、デザートが運ばれてきました。時間なので李登輝様が席を立とうとしたら、学校医でもある陳先生が珍しく大きな声で、「糖尿病なので、しっかり最後まで食べてから、行ってください。」と注意をしていました。そのしっかり食事をしたおかげで、李登輝様は、1時間立って講演してくださり、時間が押してきたので、質問がなしということ

になったらしいのですが、ご自分から質問は？と聞いてくれました。そこで、質問とその考えが開陳されたということになりました。

講演が終わり、学校にプレゼントしてくれたのは、『誠実自然』と書かれた皿でした。また、秘書から、講演の中で話があった「メメント・モリ」を日本人学校にもプレゼントしてくれるという申し出がありました。

新聞を読むと、23日は教科書問題で発言をしています。ますますお元気という印象です。

### 1月22日（水）

三民区警察に挨拶に行ってきました。外国の機関の警備に外事科が関わってくれています。ことあるごとに警備に来てくれています。

### 1月23日（木）

教育局長に挨拶に行ってきました。鳳山に移転しています。教育局長は、中正小への移転の進捗状況を尋ねてきました。応える中で、局長としては、外僑学校にもこれまでと同じように支援します。当校の保護者が親日的でない校長に代わったらという心配をしていると、話をしたら、そんな風にはならないようにしますが、それも含めてなんかあったら言ってください。とのこと。心強いお言葉でした。前の教育長とはずいぶん仲良くなって、あちらも私に授業してくれとか見学させてくれとか、頼みます。私も日本の大学の先生が来たときなど前教育長や交流のある校長を招待します。そんなつきあいも、台湾では重視されるようです。

### 1月24日（金）

学習発表会のリハーサルでした。みんなよくできていました。細かな失敗はこの際、関係がありません。みんなで作り上げるとかみんなで助け合う学びの場になっています。また、1年間の振り返りの場にもなっています。

午後は、中学部ディベートでした。文藻外語大学の学生を招いて、『日本は救急車を有料化するべきである。是か否か』のディベートを行いました。事前に肯定、否定、両方を想定して調べます。当たり前ですが、相手が何を調べているかはわかりません。それを予想して、調べるのです。私も社会科ではかなり中学生や大学生にさせたことがあります。教科の専門なので、生徒や学生が調べることも予想できました。が、自分でも深く考えたことがないことに関して、教員（当校職員）としても大変だろうなと思ってしまいました。また、いくら日本語学科の学生と言っても、中国語で考えるのが普通です。それを日本語で表現するというのは、大変だろうな、という想像しかできません。